



石神台

防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会

第56号 広報班

平成31年3月

防災倉庫には「何があるの？」見学会

— 第17回自主防災キャンペーン行動 —

2月10日、第17回自主防災キャンペーン行動では『防災倉庫の見学会』を行いました。

防災部の防災備品棚卸に合わせて、各公園にある防災倉庫には何が、どのくらい、どう保管されているのか？を見て回りました。

東公園から中央・北・西・南の順に各公園の防災倉庫を回り、東公園では非常用発電機を持ち出して始動方法実施訓練し、中央公園ではスタンドパイプを持ち出して操作方法の説明が行われました。連休期間中のためか、防災部員を除き29名の参加者でした。



いざ！…という時の初期対応

～『3・11を忘れないで…』～

3月は「8年前の3・11」を思い出します。さて、2月26日、政府の地震調査委員会が地震の長期評価を発表しました。日本海溝沿いでの今後30年間の地震発生率です。それによると「相模トラフ」ではマグニチュード8程度の地震発生率が3～26%となっています。いざ！という時の「初期対応」を身につけましょう。先ず『身を守ること』…。地震では？津波では？家か外か？そして、昼か夜か…。夜の「明かり」は必須です。携帯・スマホははなせません。家族で話し合う時は一時「明かり」を消して話し合うのもよいのではないのでしょうか。

「避難所の仕組みと運営」について

…養成研修・講演会に参加して

2月9日「大磯町防災リーダー養成研修・防災講演会」があり、石神台から3名が参加してきました。大規模災害では地域の人たちが避難所で一緒に生活します。その「避難所の仕組みと運営」が話のポイントで、次のようなことが勉強になりました。

- 避難所の運営は「避難者が行う」こと。町職員は手が回らない。
- 「運営委員会」を作ること。要援護者・負傷者の救護救援、環境・衛生の確保、警備、救援物資の仕分けと保存などを分担し合うこと。
- 避難所開設マニュアルを作成して訓練を行うこと。○相模トラフ巨大地震では大磯は地震発生3分後に17.1mの津波が想定されています。これを意識した訓練を行うこと。○日頃からできる防災対策（家具の固定、住居の耐震補強、避難場所の確認等）。自分の命は自分で守る（自助）。隣近所と協力し合った防災（共助）…などでした。

石神台の防災に活かしていきたいと思えます。（日高）

ニコニコマークは無事の印

みんなで出そう黄色い旗
毎月の第一土曜日 午前中



無事です

石神台 丁目

4月は6日
5月は4日
です。

「いざ」という
時にあわてない
訓練をしよう！